

1. 店舗別 売上高概況 (単位: %)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	11.9	7.5
② 銀座店	13.4	13.1
③ 浅草店	-1.7	0.0

① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

2. 売上高対前年増減率推移

(単位: %)

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
銀座本店	-26.7	-43.8	-13.5	44.4	575.3	421.4	4.7	8.6	-5.7	6.1	5.4	11.9
松屋銀座	-27.8	-45.7	-14.3	43.4	573.2	361.8	2.8	8.9	-8.5	6.6	6.2	13.4
松屋浅草	-12.2	-13.6	-1.9	57.2	600.4	*	24.3	5.1	26.5	0.0	-5.5	-1.7

3. 店舗別商況

銀座店	11月の銀座店は、売上高が前年に対して約13%増(浅草店を含めると同約12%増)、また、入店客数も同13%増になる等、前月初における緊急事態宣言の解除を経て、今月は日を追う毎に改善の傾向を示しました。特に、好調なラグジュアリーブランドは前年に対して約3割増、時計は同5割増、宝飾は同9割増と大幅に売上を伸ばし、引き続き、富裕層の堅調な買上動向が全体を強く牽引しております。また、夕方以降の来店・回遊・買廻りも好調に推移し始め、化粧品(前年対比約6%増)、また、衣料品については、紳士服がやや足踏みするも、苦戦が続いた婦人衣料品の売上高が前年比10%増となりました(キャリア同10%増、プレステージ同15%増。防寒衣料最盛期においてコートが約3割の伸びを示しました)。
-----	---

4. 商品別売上高対前年増減率

(単位: %)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	6.1	6.1
婦人服・洋品	11.6	12.3
子供服・洋品	-5.2	-5.2
呉服寝具他	-16.9	-19.0
衣料品計	8.0	8.3
身廻り品	20.7	20.5
雑貨	19.8	23.2
家具	-7.5	-7.9
家電	80.7	81.7
家庭用品	-4.4	-4.4
家庭用品計	-2.0	-2.1
食料品	3.9	6.6
食堂・喫茶	16.2	16.3
サービス、その他	14.6	16.1
合計	11.9	13.4

※「2021年12月上報告」は、2022/1/4(火)15時の開示を予定しております。